

整理番号	47-11	事務事業名	身近に親しむ スポーツの集い事業		作成部署	生涯学習部体育課	電話	内線890
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	松尾定治	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S61	根拠法令等	スポーツ振興法第7条					
"終了予定年度"								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市民がいいきとした生活を築けるよう、日常生活にスポーツ・レクリエーション活動を取り入れる機会の提供を目的とするとともに、学校の休日拡大に伴う子どもの居場所を確保することを目的として始めた。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	スポーツとレクリエーション	(第5節)
	施策	地域スポーツ・レクリエーション活動の振興	(第2施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	市民	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	日常生活にスポーツ・レクリエーション活動を積極的に取り入れ、いいきとした生活を送ることを目指す。また、学校の休日拡大に伴い青少年の健全育成の面からもスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の提供を目指す。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	スーパードッジボール3・4年生大会 いち・にのジャンプ大会
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	80	72	80	80
	一般財源	61	54	53	53
	合 計	141	126	133	133
人件費 (概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +		591	576	583	583

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	[参加チーム数]				
	スーパードッジボール大会	28チーム	27チーム	30チーム	30チーム
	いち・にのジャンプ大会	42チーム	36チーム	40チーム	45チーム
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	[参加者数]				
	スーパードッジボール大会	303人	303人	330人	330人
	いち・にのジャンプ大会	462人	396人	440人	500人
	合 計	765人	699人	770人	830人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	参加者1人あたりコスト				
	(総事業費 - 受益者負担) ÷ 総参加者数	668円	722円	654円	606円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	スポーツ・レクリエーションや健康づくりに対する興味・関心は高まり、そのニーズは多様化している。また、学校の休日拡大に伴い、子ども達の居場所づくりは必要不可欠となっている。さらにスポーツ・レクリエーション活動を通して新たなコミュニティ形成が求められている。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民のいきいきとした生活の充足や、青少年の健全育成のための事業として行政が主体的に取り組むことは妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	参加チームは年々増加している。市内各小学校では、夏のドッジボール、冬のジャンプと位置づけ1年間を通して取り組まれている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	事業の見直しを図り、現在は体育指導委員協議会との共催で実施されていることから、適切であると考え。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	参加料を徴収し実施している。直接事業費の60%を受益者負担としていることから適切であると考え。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	より身近なスポーツ・レクリエーション活動の成果を発揮する場として活用されている。現在は、小学生の参加が多いものの一般の参加につながる取り組みが必要である。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	予算縮小とともに、参加賞をやめるなど、現在は大会を開催するうえで必要最低限の経費で運営していることから、十分効率的なものとなっていると考え。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	予算等の現状は厳しいが、現状のまま維持するとともに、一般参加者の拡充に努める。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり